



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月11日

上場会社名 株式会社タクマ 上場取引所 東
 コード番号 6013 URL <https://www.takuma.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南條 博昭
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画本部経理部長(氏名) 神吉 修児 (TEL) 06-6483-2610
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	70,352	21.8	5,826	56.2	6,244	54.2	4,725	51.0
2020年3月期第2四半期	57,765	14.1	3,730	△0.6	4,048	△5.5	3,130	3.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 4,911百万円(160.6%) 2020年3月期第2四半期 1,884百万円(△46.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	58.22	—
2020年3月期第2四半期	37.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	166,054	88,584	53.1
2020年3月期	163,498	85,040	51.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 88,194百万円 2020年3月期 84,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.00	—	18.00	31.00
2021年3月期	—	18.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	0.4	10,800	12.5	11,500	11.6	8,400	12.8	103.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料の11ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	83,000,000株	2020年3月期	83,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,780,260株	2020年3月期	1,857,894株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	81,174,429株	2020年3月期2Q	82,701,821株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報)	12
3. 予想補足資料	13
(1) セグメント別連結業績予想	13
(2) 連結設備投資額、減価償却費及び研究開発費予想	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間				前年同期比増減額		
	受注高	売上高	営業損益	受注残高	受注高	売上高	営業損益
環境・エネルギー(国内)事業	103,522	58,908	6,542	381,937	47,124	12,910	2,176
環境・エネルギー(海外)事業	395	753	△ 10	375	△ 405	294	101
民生熱エネルギー事業	9,915	7,437	40	6,406	96	△ 823	△ 266
設備・システム事業	5,432	3,414	292	5,471	2,057	81	117
計	119,265	70,512	6,865	394,190	48,872	12,463	2,128
調整額	△ 332	△ 160	△ 1,038	△ 294	△ 182	123	△ 31
合計	118,933	70,352	5,826	393,896	48,690	12,586	2,096

当社グループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、主に環境・エネルギー(国内)事業の増加により受注高は前年同期に比べ48,690百万円増加の118,933百万円、売上高は12,586百万円増加の70,352百万円となりました。

損益面においては、主に環境・エネルギー(国内)事業の増益により、前年同期に比べ営業利益は2,096百万円増加の5,826百万円、経常利益は前年同期に比べ2,196百万円増加の6,244百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,595百万円増加の4,725百万円となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症による先行きの不透明感から、一部において設備投資意欲の減退等も見られましたが、当第2四半期連結累計期間の経営成績において、重要な影響は見られておりません。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[環境・エネルギー(国内)事業]

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き堅調な需要の獲得に努め、ごみ処理プラントのDBO事業(建設・運営事業)を含む新設工事3件、基幹改良工事2件などを受注し、受注高は前年同期に比べ47,124百万円増加の103,522百万円となりました。売上高は主に受注済みプラントの建設工事の進捗により前年同期に比べ12,910百万円増加の58,908百万円、営業利益は2,176百万円増加の6,542百万円となりました。

[環境・エネルギー(海外)事業]

当第2四半期連結累計期間においては、新設プラント案件の受注がなかったことから、受注高は前年同期に比べ405百万円減少の395百万円となりました。一方、売上高は受注済みのバガス燃焼ボイラプラントの進捗により294百万円増加の753百万円、営業損益は101百万円改善し10百万円の営業損失となりました。

[民生熱エネルギー事業]

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症などによる先行きの不透明感から設備投資意欲の減退等も見られましたが、引き続き更新需要の獲得等に取り組んだ結果、受注高は前年同期並みの9,915百万円となりました。一方、受注案件の納期の関係から、売上高は前年同期に比べ823百万円減少の7,437百万円、営業利益は266百万円減少の40百万円となりました。

[設備・システム事業]

当第2四半期連結累計期間においては、建築設備、半導体産業用設備ともに堅調に推移し、前年同期に比べ受注高は2,057百万円増加の5,432百万円、売上高は81百万円増加の3,414百万円、営業利益は117百万円増加の292百万円となりました。

なお、環境・エネルギー(国内)事業においては、第3四半期以降も引き続きバイオマス発電プラントなどの受注を見込んでおります。また、受注済みプラントの建設工事が順調に進捗しているほか、民生熱エネルギー事業や設備・システム事業も堅調に推移しております。当社グループの業績において、新型コロナウイルス感染症による重要な影響は見られておらず、引き続き、今期目標の受注高180,000百万円、経常利益11,500百万円の達成に向けて鋭意取り組んで参ります。

但し、新型コロナウイルス感染症の影響について、これまで以上に事態が深刻化した場合、需要減退・発注延期に伴う新規受注の減少や受注済案件の納期延長に伴う売上の減少等の影響が生じる可能性があります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は166,054百万円と前連結会計年度末に比べ2,555百万円の増加となりました。これは主に、たな卸資産が1,714百万円の増加、現金及び預金が1,634百万円の増加となったことによるものであります。

負債は77,469百万円と前連結会計年度末に比べ988百万円の減少となりました。これは主に、前受金が665百万円の減少、工事損失引当金が593百万円の減少となったことによるものであります。

純資産は88,584百万円と前連結会計年度末に比べ3,544百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が3,265百万円の増加となったことによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は53.1%と前連結会計年度末に比べ1.3ポイントの増加となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の財政状態において、新型コロナウイルス感染症による重要な影響は見られておりません。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,631百万円増加し、四半期末残高は46,385百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,046百万円の資金の増加(前年同期は1,468百万円の資金の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が6,364百万円となったものの、法人税等の支払額が1,850百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、833百万円の資金の減少（前年同期は1,013百万円の資金の増加）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入により1,151百万円の増加となったものの、有形固定資産の取得による支出により1,258百万円の減少となったほか、投資有価証券の取得による支出により739百万円の減少となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,583百万円の資金の減少（前年同期は1,325百万円の資金の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額が1,460百万円となったことによるものであります。

当社グループは、運転資金をはじめ、将来の事業展開に備えた設備投資、研究開発にかかる資金について、自己資金、前受金のほか、金融機関からの借入金によることとしており、今後も事業活動に必要な資金の調達に困難が生じることはないと考えております。なお、複数の金融機関とコミットメントライン契約を締結し、新型コロナウイルス感染症をはじめとする不測の事態等に備えて流動性を補完しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

老朽化したごみ処理プラントの更新や延命化対策、エネルギー政策を背景としたバイオマス発電プラントの建設など当社グループの主要製品には引き続き需要が見込まれております。一方で、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況が続くなか、欧州、米国などで再び感染が拡大するなど、先行きの不透明感が改めて強まっております。

このような状況の下、当社グループの2021年3月期の業績につきましては、当第2四半期連結累計期間において堅調に推移しており、2020年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

当社グループでは、通常の事業形態として、納期が連結会計年度末直前となる工事が多く、第4四半期にかけて進捗、引渡しが多くなる傾向にあり、業績においても第4四半期での売上高が他の四半期と比較して大きくなるなど季節的変動が大きいことから、業績管理については年次のみで行うこととしております。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響が今後さらに拡大・深刻化した場合には、需要減退・発注延期に伴う新規受注の減少、受注済案件の納期延長に伴う売上の減少等の影響が生じる可能性があります。現時点では上記の見通しには織り込んでおりません。影響拡大により業績予想の修正が必要となった場合には、適時に開示してまいります。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,145	47,779
受取手形及び売掛金	73,349	67,312
たな卸資産	4,681	6,395
その他	2,812	4,662
貸倒引当金	△19	△19
流動資産合計	126,967	126,131
固定資産		
有形固定資産	8,420	9,222
無形固定資産	275	256
投資その他の資産		
投資有価証券	15,629	16,389
その他	12,313	14,147
貸倒引当金	△108	△93
投資その他の資産合計	27,834	30,443
固定資産合計	36,530	39,923
資産合計	163,498	166,054

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,276	30,756
電子記録債務	14,680	13,928
短期借入金	550	602
未払法人税等	1,673	1,456
前受金	10,029	9,364
賞与引当金	3,153	2,601
製品保証引当金	164	74
工事損失引当金	3,401	2,807
関係会社整理損失引当金	833	1,457
その他	3,820	3,455
流動負債合計	67,582	66,503
固定負債		
長期借入金	262	120
役員退職慰労引当金	220	210
退職給付に係る負債	10,110	10,359
その他	282	276
固定負債合計	10,875	10,966
負債合計	78,458	77,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,818	3,840
利益剰余金	66,243	69,508
自己株式	△2,178	△2,087
株主資本合計	81,250	84,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,764	3,890
繰延ヘッジ損益	3	△6
為替換算調整勘定	△2	2
退職給付に係る調整累計額	△373	△321
その他の包括利益累計額合計	3,392	3,564
非支配株主持分	397	390
純資産合計	85,040	88,584
負債純資産合計	163,498	166,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	57,765	70,352
売上原価	46,109	56,815
売上総利益	11,655	13,537
販売費及び一般管理費	7,925	7,710
営業利益	3,730	5,826
営業外収益		
受取利息	8	11
受取配当金	299	288
持分法による投資利益	37	60
その他	55	103
営業外収益合計	400	464
営業外費用		
支払利息	8	7
コミットメントフィー	14	14
為替差損	0	11
その他	58	13
営業外費用合計	82	46
経常利益	4,048	6,244
特別利益		
投資有価証券売却益	662	1,002
特別利益合計	662	1,002
特別損失		
関係会社整理損失引当金繰入額	-	882
和解金	371	-
投資有価証券売却損	213	-
その他	27	-
特別損失合計	612	882
税金等調整前四半期純利益	4,098	6,364
法人税等	1,014	1,626
四半期純利益	3,083	4,738
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△46	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,130	4,725

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,083	4,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,214	126
繰延ヘッジ損益	△11	△10
為替換算調整勘定	△19	5
退職給付に係る調整額	46	51
その他の包括利益合計	△1,198	173
四半期包括利益	1,884	4,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,935	4,898
非支配株主に係る四半期包括利益	△51	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,098	6,364
減価償却費	408	456
投資有価証券売却損益(△は益)	△448	△1,002
賞与引当金の増減額(△は減少)	△476	△552
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△253	△593
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	-	624
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	351	322
受取利息及び受取配当金	△307	△300
支払利息	8	7
持分法による投資損益(△は益)	△37	△60
売上債権の増減額(△は増加)	6,556	5,372
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,282	△1,714
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△984	△1,770
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,910	614
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,012	△257
その他	255	△1,976
小計	1,964	5,533
利息及び配当金の受取額	387	370
利息の支払額	△9	△6
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,811	△1,850
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,468	4,046
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,314	△1,258
有形固定資産の売却による収入	494	-
無形固定資産の取得による支出	△4	△28
投資有価証券の取得による支出	△765	△739
投資有価証券の売却による収入	2,532	1,151
貸付けによる支出	-	△30
貸付金の回収による収入	57	57
その他	13	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,013	△833

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△225	△50
長期借入金の返済による支出	△76	△40
配当金の支払額	△992	△1,460
非支配株主への配当金の支払額	△23	△20
その他	△7	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,325	△1,583
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,799	1,631
現金及び現金同等物の期首残高	61,027	44,753
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,227	46,385

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した西知多ハイトラスト㈱を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	45,903	458	8,232	3,170	57,765	—	57,765
セグメント間の内部売上高 又は振替高	93	—	28	161	283	△283	—
計	45,997	458	8,260	3,332	58,049	△283	57,765
セグメント利益又は損失(△)	4,366	△111	307	175	4,736	△1,006	3,730

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,006百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,084百万円及びその他の調整額77百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	58,813	751	7,415	3,372	70,352	—	70,352
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94	2	21	41	160	△160	—
計	58,908	753	7,437	3,414	70,512	△160	70,352
セグメント利益又は損失(△)	6,542	△10	40	292	6,865	△1,038	5,826

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,038百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,115百万円及びその他の調整額77百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 予想補足資料

(1) セグメント別連結業績予想

(単位：百万円)

セグメントの名称	2021年3月期(予想)		
	受注高	売上高	受注残高
環境・エネルギー(国内)事業	152,500	110,500	379,322
環境・エネルギー(海外)事業	4,000	1,000	3,733
民生熱エネルギー事業	17,000	17,000	3,928
設備・システム事業	7,000	7,000	3,453
計	180,500	135,500	390,437
調整額	△ 500	△ 500	△ 122
合計	180,000	135,000	390,315

(2) 連結設備投資額、減価償却費及び研究開発費予想

(単位：百万円)

	2020年3月期(実績)	2021年3月期(予想)	増減
設備投資額	1,564	2,600	1,035
減価償却費	917	950	32
研究開発費	1,154	1,300	145